

## 感染症定期報告感染症別文献一覧表 (医療機器 2017/4/1 ~ 2017/10/31)

| ID | 感染症(PT) | 出典  | 概要   |
|----|---------|---|--|
| 1  | E型肝炎    | ProMED-mail<br>20170522.5055004   | 英国公衆衛生サービスのデータによると、嘔吐や黄疸、発熱を引き起こす肝臓疾患の感染が2010年の368例から2016年には1,244例へ急増した。英国食品基準庁によると、現在、英国のブタの群れの93%がE型肝炎に感染し、そのうち6%がヒトに感染する可能性があるウイルスを産生している。また、英国の61歳男性が、E型肝炎重症感染症により、腋窩及び横隔膜の神経麻痺を起こした。当該症例の感染源はサラミであると考えられる。  |
| 2  | E型肝炎    | Viruses. 8(2016)  | 2009年から2012年の間に、フランスのコルシカ島のイノシシ及びイノブタの血清及び肝臓のサンプル並びに30の農場のブタ血清においてE型肝炎の抗体調査が行われた。イノシシで26%、イノブタで43.5%、ブタで88%が陽性であった。  |
| 3  | E型肝炎    | Ann Hepatol.<br>15(2016)438-441   | 2014年6月、フランスにおいて、HIVに感染した男性患者の血清からE型肝炎ウイルス(HEV) RNAが検出された。当該患者は加熱調理が不十分な野生のイノシシ肉を摂食しており、その他の HEV感染危険因子は記録されていない。   |
| 4  | E型肝炎    | ProMED-mail<br>20170426.4996999   | フランスにおいて豚肉を摂食した男性1例からの献血により、オーストラリアにおいて6歳男児1例がHEVに感染した。当該例は、オーストラリアにおいて献血を介したHEV感染の最初の確定例である。2014年、当該男児は、肝移植手術時に使用された血漿から当該ウイルスに感染したが、約6ヶ月後の2015年初旬まで発症は確認されなかった。オーストラリア赤十字社血液局は、当該男児が受けたすべての献血18単位の保存サンプルを検査し、1サンプルがHEV陽性であることを確認した。献血前に症状を呈していなかった当該ドナーは、フランス南部において豚肉を摂食していたことが判明した。 |
| 5  | E型肝炎    | Hepatology. 64(2016)350-359   | 中国雲南省における調査で、E型肝炎感染牛は牛乳中にHEVを排出することが明らかとなった。ウイルスで汚染された牛乳を与えられたアカゲザルはE型肝炎に感染した。このウイルスは62 で30分間、もしくは72 で30秒間加熱する低温殺菌では完全に不活化されず、100 で3分間の加熱で完全に不活化された。   |
| 6  | インフルエンザ | ProMED-mail<br>20170203.4812459   | 2016年10月、イタリアにおいて、インフルエンザA(H1N1)感染のヒトにおける重症例が1例報告された。患者は、重篤な急性呼吸窮迫症候群を発症し、体外式膜型人工肺が使用され、抗ウイルス治療が実施された。患者には養豚場で働く兄弟がおり、ブタとの間接的な接触があった。その養豚場の12頭のブタがインフルエンザA型の陽性反応を示し、うち1頭から得られた株は患者から得られた株と関連があった。ブタおよび患者から得られた株に対する抗体が、患者の兄弟の血清から検出された。  |
| 7  | インフルエンザ | Influenza and other respiratory viruses.<br>11(2017)298-303                                   | デンマークのブタにおいて、H1N1由来の遺伝子の一部を含むインフルエンザAウイルスが広がっている。  |
| 8  | インフルエンザ | WHO Influenza at the human-animal interface Summary and assessment, 20 July to 3 October 2016 | 2015年11月、ブラジル南部において、ヒトのインフルエンザA(H1N2)変異型(H1N2v)感染例1例が報告された。患者は、発症前にブタへの接触があったことが報告されている。当該地域について後ろ向きに調査を行ったが類似症例は検出されなかった。アメリカで2016年に報告されたH1N2vとのウイルスの類似性は認められていない。  |
| 9  | インフルエンザ | CDC FLUVIEW 2016-2017 Influenza Season Week 46 ending November 19, 2016                       | 米国アイオワ州において、ヒトのH1N2v感染例1例が報告された。患者は、発症の前週にブタへの密接な接触があったことが報告されている。ヒト-ヒト感染は確認されていない。  |
| 10 | インフルエンザ | Outbreak News Today (2017.05.06)  | 米CDCによると、テキサス州において、インフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)によるヒト感染が1例報告された。患者は、2017年2月に、呼吸器症状を発症しており、発症の前週の農業イベントでのブタとの接触が報告されている。2017年に米国で検出された初めてのH3N2v感染である。  |
| 11 | インフルエンザ | ProMED-mail<br>201707030.5215014  | 米CDCによると、オハイオ州において、ヒト11例のH3N2v感染が2017年7月16日の週に検出された。11例全例が症状を呈した週に展示会でのブタへの曝露を報告した。11例中10例は18歳未満で、1例は50歳～64歳の成人であった。ヒト-ヒト感染は特定されず、H3N2vが同展示会ブタ呼吸系サンプルから特定された。  |

| ID | 感染症(PT)         | 出典  | 概要   |
|----|-----------------|---|--|
| 12 | インフルエンザ         | ProMED-mail<br>20170923.5335679   | 米国メリーランド州において、展示会のブタ5頭におけるH3N2v感染が報告された。さらに、ヒト7例が、その展示会の検査陽性のブタへの密接な接触によりインフルエンザに感染したことが報告された。   |
| 13 | インフルエンザ         | Outbreak News Today<br>(2016.12.28)   | カナダにおいて、ヒトのH3N2vの確定例1例が報告された。患者は発症前に農場で病気のブタに曝露していたことが確認された。   |
| 14 | インフルエンザ         | ProMED-mail<br>20170102.4731669   | カナダにおいて、ヒトのH3N2vの確定例1例が報告された。患者は発症前に農場で病気のブタに曝露していたことが確認された。   |
| 15 | インフルエンザ         | <a href="https://www.cdc.gov/flu/weekly/">https://www.cdc.gov/flu/weekly/</a>   | 2016年～2017年インフルエンザシーズン第35週に、新型インフルエンザウイルスAのヒト感染は米国CDCに報告されなかった。2017年の米国において、計20例の変異型ウイルスが報告されている。18例はH3N2v、2例はH1N2vであった。全ての変異型ウイルス感染例は展示会におけるブタへの曝露に関連している。ヒト-ヒト感染は確認されていない。   |
| 16 | インフルエンザ         | <a href="https://www.cdc.gov/flu/swineflu/variant-cases-us.htm">https://www.cdc.gov/flu/swineflu/variant-cases-us.htm</a>   | 2005年12月以降、米国では計414例の変異型インフルエンザウイルス感染が検出された。大多数の症例が発症前の直接又は間接的なブタへの曝露を報告している。感染者との濃厚接触による限定的な感染は認められたが、継続したヒト-ヒト感染は確認されていない。   |
| 17 | インフルエンザ         | Viruses. 9(2017)  | 2014年にカナダのアルバマータ州、マニトバ州、オンタリオ州、サスカチュワン州で異なる臨床発生から隔離された16個のA型インフルエンザウイルスの包括的なゲノム解析を行った。13個はH3N2ウイルスで、全てクラスタに属していた。そのうち8種は -C、1種は -B、1種は -Dのクラスタに属している。残りの3種はクラスタ内の現在確立されているいずれのグループにも明確に分類できなかった。   |
| 18 | インフルエンザ         | J Gen Virol. 98(2017)18-30  | ヒト(A/イラク/755/06)から単離した高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)H5N1ウイルスの病原性及び伝播性を調査した。また、A/イラク/755/06、パンデミックH1N1 2009の内部遺伝子A/ニューヨーク/18/2009(2イラク/06: 6ニューヨーク/09 H5N1)から成る表面遺伝子再集合体ウイルス並びにA/イラク/755/06の内部遺伝子(2ニューヨーク/09: 6イラク/06 H1N1)を有するA/ニューヨーク/18/2009のヘマグルチニン及びノイラミニダーゼについても調査した。A/イラク/755/06がブタにおいて病変を引き起こすことはほぼなく、上部及び下部呼吸器でウイルス複製が抑制されていることが観察された。2イラク/06: 6ニューヨーク/09 H5N1再集合体は軽度の肺病変を引き起こし、上部及び下部呼吸器で持続的なウイルス複製が認められ、接触したすべてのブタ(5頭中5頭)に感染が認められた。2ニューヨーク/09: 6イラク/06 H1N1再集合体も軽度の肺病変を引き起こし、上部及び下部呼吸器におけるウイルス複製のエビデンスが認められ、接触したすべてのブタ(5頭中5頭)に感染が認められた。これらの研究は、パンデミックの内部遺伝子を有するHPAI由来のH5N1再集合体はブタにおける感染を持続させる力がより高い可能性があること、また、HPAI由来の内部遺伝子はパンデミックH1N1 2009の表面遺伝子と適合することを示唆している。 |
| 19 | クロイツフェルト・ヤコブ病   | <a href="http://www.reuters.com/article/us-usa-cattle-bse-alabama/alabama-finds-atypical-mad-cow-case-no-human-threat-seen-idUSKBN1A321Y">http://www.reuters.com/article/us-usa-cattle-bse-alabama/alabama-finds-atypical-mad-cow-case-no-human-threat-seen-idUSKBN1A321Y</a> | 米国アラバマ州の11歳齢のウシ1頭において、非定型ウシ海綿状脳症(BSE)(L型)が確認された。当該ウシは、アラバマ州の家畜市場における定期的サーベイランスにより発見された。  |
| 20 | 異型クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED-mail.<br>20170719.5189464  | 米国アラバマ州の11歳齢のウシ1頭において、非定型BSE(L型)が確認された。当該ウシは、アラバマ州の家畜市場における定期的サーベイランスにより発見された。米国のウシにおけるBSE症例は全て非定型BSEであり、今回の症例は20年以上のサーベイランスを行ってきた中で、特定された4例目の非定型BSEである。前回の発生は2012年であった。   |
| 21 | 異型クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED-mail<br>20170119.4775368   | アイルランドにおいて、ウシ1頭における非定型BSE(L型)が確認された。Department of Agriculture, Food and the Marineは、農場で死亡した家畜を対象としたサーベイランスにおいて、2017年1月18日、18歳齢のウシ1頭における非定型BSE症例を確認した。アイルランドでは他に3件の非定型BSEを確認しており、本件で4件目となる。   |

| ID | 感染症(PT)         | 出典  | 概要  |
|----|-----------------|---|---|
| 22 | 異型クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED-mail<br>20170311.4894368   | スペインのカスティーリャ・イ・レオン州において、ウシ1頭における非定型BSE(L型)が確認された。伝達性海綿状脳症(TSE)サーベイランスプログラム(48カ月齢超の死亡ウシ又は食用にと畜されなかったウシのサンプリング)において、2017年2月23日に迅速診断によりBSE陽性の疑いがあるウシが報告され、確定診断実施後、2017年3月1日に非定型BSE(L型)であること判明した。   |
| 23 | 異型クロイツフェルト・ヤコブ病 | ProMED-mail.<br>20170513.5033539  | スペインのカンタブリア州において、ウシ1頭における非定型BSE(L型)が確認された。TSEサーベイランスプログラム(48カ月齢超の死亡ウシ又は食用にと畜されなかったウシのサンプリング)において、2017年4月28日に迅速診断によりBSE陽性の疑いがあるウシが報告され、確定診断実施後、2017年5月5日に非定型BSE(L型)であること判明した。  |
| 24 | 異型クロイツフェルト・ヤコブ病 | HPS Weekly Report.<br>2016;50(2016/49):417  | European Food Safety Authority(EFSA)は、ウシ、ヒツジ及びヤギにおけるTSEのモニタリングに関する初のEU概略報告書を発表した。EFSAの報告によると、2015年に140万頭のウシが検査され、4つのEU加盟国において症例5例(アイルランド1例、スロベニア1例、スペイン1例、英国2例)、ノルウェーにおいて症例1例が検出された。アイルランドと英国における2例は古典的BSEに感染しており、2例とも2001年に施行されたEU全域での飼料規制の後に生まれていた。その他4例は非定型BSE症例であった(3例はH型、1例はL型)。 |
| 25 | サルモネラ症          | <a href="http://www.cdc.gov/salmonella/heidelberg-11-16/index.html">http://www.cdc.gov/salmonella/heidelberg-11-16/index.html</a> | 米国におけるサルモネラ症の報告。米国の10の州において、Salmonella Heidelbergに感染したヒト症例36例が報告された。うち26例はウシとの接触があった。   |
| 26 | サルモネラ症          | ProMED-mail.<br>20170803.522307   | 米国におけるサルモネラ症の報告。2017年3月20日以降、Salmonella Heidelbergのアウトブレイク株に感染したヒトがさらに10例報告され、計46例の感染者が14州から報告されており、14例(30%)が入院した。聞き取り調査を行った44例のうち29例(66%)において、乳用雄牛又はその他のウシとの接触が報告された。  |
| 27 | トリパノソーマ症        | Clin Infect Dis.<br>62(2016)1002-1008   | ベトナムにおけるトリパノソーマ感染の報告。2015年3月、ベトナム南部の医療施設にて発熱、頭痛、関節痛を訴えた女性患者において、トリパノソーマ感染が認められた。PCRおよび血清学的検査によりTrypanosoma evansi(T. evansi)が感染種として同定された。感染源を同定するために現地調査が実施され、推定曝露位置の30例の動物血液サンプルのうち14例(47%)がT. evansiに対してPCR陽性であり、ウシやスイギュウが最も可能性の高い感染源であると判定された。                                     |
| 28 | ウイルス感染          | J Virol Diagn Invest. 2017 Mar 31. [Epub ahead of print]  | 大規模養豚農場のあるルーマニア東部において、Swine pasivirus 1 (SPaV-1)の保菌率、分布、及び遺伝的多様性について調査した結果、調査対象とした7地域のうち6地域においてSPaV-1の存在が確認された。糞便及び臓器サンプルのSPaV-1の保菌率は地域差が認められた。全サンプルの39%がSPaV-1陽性であった。また、ルーマニア東部においては、少なくとも3種のSPaV-1株が蔓延していることが示された。  |
| 29 | ブドウ球菌感染         | Microb Genom. 2017 Jan 31. DOI: 10.1099/mgen.0.000105 [Epub ahead of print]   | ニュージーランドにおけるヒトへのMRSA CC398感染の報告。人口より畜産動物数が多く、地理的に遠隔地であるニュージーランドにおいて、家畜関連MRSAの渡来及び拡散の原因が解明できれば、世界規模における黄色ブドウ球菌の伝染経路についても重要な知見となり得る。  |
| 30 | ブルセラ検査陽性        | Zoonoses Public Health. 8(2017)647-654  | 米国テキサス州の2か所のと畜場にて、376頭の野生ブタを対象にサンプルを採取し、ブルセラ属菌の培養及び血清学的検査を実施したところ、13.0%のブタにおいて培養結果が陽性であり、9.8%において抗体が検出された。  |
| 31 | ブルセラ症           | ProMED-mail<br>20170321.4912122   | 2016年4月、米国ニューヨーク州において、Brucella suisのヒト症例1例が報告された。患者は、Schoharie Countyの農場において、ブタの分娩の補助をしていた。   |
| 32 | レンサ球菌感染         | JMM Case Rep. 2016 Oct 1. DOI: 10.1099/jmmcr.0.005066 [Epub ahead of print]   | アルゼンチンにおいて、Streptococcus suisヒト感染例17症例(血清型2型株16例、血清型5型株1例)が新たに報告された。  |
| 33 | レンサ球菌感染         | Outbreak News Today (2017.02.05)  | ベトナムにおいてブタレンサ球菌によると疑われる症例が報告された。旧正月の祭りにおいてブタ血液を使用した料理を食べた後、3例の男性が入院し、うち1例が死亡したと報告された。原因菌は特定されていないが、ブタレンサ球菌が疑われている。  |

| ID | 感染症(PT) | 出典  | 概要   |
|----|---------|---|--|
| 34 | レンサ球菌感染 | Outbreak News Today<br>(2017.03.10)   | 香港において、基礎疾患のある57才男性のブタレンサ球菌感染症の症例が報告された。当該患者は、発熱、頭痛、嘔吐、めまい及び右ひじの腫脹による疼痛により入院し、髄膜炎と診断された。脳脊髄液サンプルはブタレンサ球菌陽性を示した。患者は肉屋で働いていたことが報告されており、最近の旅行歴はなく、家族に症状は認められていない。 |
| 35 | ウシ結核    | <a href="http://www.thefencepost.com/news/south-dakota-tb-strain-previously-found-only-mexico-new-to-u-s/">http://www.thefencepost.com/news/south-dakota-tb-strain-previously-found-only-mexico-new-to-u-s/</a> | 米国のサウスダコタ州のウシの群において、ウシ結核が報告された。遺伝子解析により、このウシ結核株はこれまでに米国では確認されておらず、メキシコ中央地域の乳牛のみから分離された株とほぼ同一であることが確認された。   |
| 36 | 炭疽      | Clin Microbiol Infect.<br>23(2017)52-54   | ハンガリーにおいて、ヒト炭疽症例9例が報告された。患者は、2014年7月2日から8月9日の期間に入院した、17歳から74歳の男性で、放牧、給餌、屠牛及び肉の取り扱いに携わっていた。   |